

関東・東北豪雨における坂東市の主な被害・避難状況

●住宅関係

床上浸水 9戸、床下浸水 66 戸

●河川の決壊

西仁連川(逆井城跡公園北側)

飯沼川(勘助新田・圈央道付近)

●道路関係

冠水による通行止 39 か所

復旧工事の必要箇所

道路 17 か所、水路 3 か所

●農業関係

農地 水稲 339ha、野菜類 74ha、そば 0.5ha

農業施設 用排水機場 43 か所

取水施設 1 か所、水路 23 か所

●下水道施設

猿島東部農業集落排水処理施設

受電設備浸水による運転停止

散水弁の故障

●開設した避難所 8 か所

七郷コミュニティセンター

砂崎田園都市センター

西村公民館、内野山小学校、猿島公民館

飯島小学校、猿島体育館、猿島武道館

●避難者数

19 世帯 57 人

うち常総市からの避難者数 13 世帯 40 人

まちづくり

坂東市長 吉原英一



**新たに農業を
はじめようとする
みなさんを応援します**

農業が主幹産業である坂東市は、ねぎ・レタス・白菜・トマトなどの野菜の生産量がとても多く、夏ねぎや春レタスは全国1位の生産量を誇っています。今年、山形県酒田市で行われた全国ねぎサミットにも、坂東市のキヤラクター将門くんやねぎ爺とともに参加して、坂東ねぎをPRしてきました。この野菜王国坂東市も生産者の高齢化が進み、後継者不足が問題となっているため、これらの農業を希

望ある産業として育てることを目指し、担い手の育成に取り組んでいます。これから農業をはじめようとする若者に対し、年間150万円を最大7年間給付する、青年就農給付金制度があります。

この事業は大きく2種類に分かれています。1つ目は、農業をはじめる前に、茨城県が認めた研修機関や先進農家で農業技術や経営ノウハウの習得を支援する準備型事業です。2つ目は、農業経営者として独立・自営就農を目指す新規就農者に、経営が軌道に乗るまでを支援する経営開始型事業です。

農業経営者として独立・自営就農を目指す新規就農者に、経営が軌道に乗るまでを支援する経営開始型事業

準備型は、茨城県立農業大学校や市内の大規模農家などの研修先で、1年につき1200時間以上の研修が必要となります。また、研修後に研修期間の1・5倍で最低2年間、独立自営就農または雇用就農、親元

支えていく若い力を求めています。農業に関心のあるかた、これから農業をはじめられるかたを応援し、農業の振興を推進していきま

す。

就農が条件となります。

経営開始型は、独立・自営就農時の年齢が45歳未満で、農地の所有権または利用権を持っていることや主な機械を所有または借りているなどいくつかの要件を満たす必要があります。